

第 32 回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日 時：令和 7 年 5 月 3 0 日（金） 7：55～8：15

場 所：官邸 4 階 大会議室

出席者：別紙のとおり

議 事：宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項について

議事概要：

- 城内宇宙政策担当大臣から資料 1「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項（案）のポイント」の説明が行われた。
- 審議の結果、案のとおり「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」が決定された。
- 出席者からの発言は以下のとおり。
 - ・ あべ文部科学大臣から、「文部科学省では、宇宙基本計画の更なる進展に向け、基幹ロケットの高度化や、最終号機となる H-I I A ロケット 50 号機で来月打上げ予定の「温室効果ガス・水循環観測技術衛星」（GOSAT-GW）の運用等に取り組んでいく。また、米国の状況を見つつ、日本人宇宙飛行士による 2 回の月面着陸を含むアルテミス計画や、2030 年頃の ISS 退役以降も見据えた地球低軌道活動の強化に着実に取り組み、日米宇宙協力を推進する。さらに、宇宙戦略基金による民間企業・大学等の活動の後押しや、これらの活動を支える JAXA の人的・技術基盤の強化等を推進する。」といった発言があった。
 - ・ 岩屋外務大臣から、「本年 2 月の総理訪米では、共同声明において、アルテミス計画を含む、日米間の宇宙分野における強力なパートナーシップが明記された。引き続き、関係省庁と連携し、日米宇宙協力を着実に深めてまいりたい。また、先月にはインドと、今月には EU との間で宇宙に特化した対話を開催した。安全保障、民生及び産業協力に係る幅広いトピックについて、率直な意見交換を実施し、引き続き連携していくことで一致した。国連の場でも宇宙に関する議論が進む中、国際法の遵守や宇宙空間の持続的かつ安定的・安全な利用の確保に向け、同志国と共に取り組んでいく。」といった発言があった。
 - ・ 浅尾環境大臣から、「環境省では、温室効果ガス観測技術衛星の 3 号機となる GOSAT-GW の来月 24 日の打上げに向けて、文部科学省とともに準備を進めている。本機により、温室効果ガスの観測精度を大幅に向上させ、

その観測データを国際機関、途上国政府、民間企業等に広く活用いただくことで、国内外の排出削減行動を後押しする。」といった発言があった。

- ・ 小泉農林水産大臣から、「農林水産省では、本年４月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」等に基づき、農林水産業の生産性向上等を図るため、衛星データを活用したスマート技術の開発・普及、及び衛星データの政府調達を推進していく。また、能登半島地震・豪雨や岩手県大船渡市の山林火災における活用実績等を踏まえ、災害状況の把握等での衛星データの活用を積極的に進めていく。」といった発言があった。
- ・ 本田防衛副大臣から、「宇宙の戦闘領域化が進展し、宇宙空間における脅威とリスクが拡大する中、防衛省として、宇宙領域における防衛能力強化の方向性に係る文書を策定したいと考えている。我が国の宇宙利用を確保するために必要な施策について示す考えであり、関係省庁とも連携しながら、検討を進めていく。」といった発言があった。

○ 石破内閣総理大臣より、以下のとおり発言があった。

- ・ 本日、「宇宙基本計画」の今後の重点事項を決定した。
- ・ 宇宙分野は、ロケットで打ち上げられた人工衛星からの情報を通じ、安全保障、防災・減災、気象予測など産業や国民生活の高度化に貢献しており、長年技術やサプライチェーンを蓄積してきた我が国が強みを発揮できる重要分野である。
- ・ 宇宙関連市場の将来性を見込んで、各国において官民による積極的な投資が行われており、我が国としても、国際競争に劣後しないよう、先端技術開発、技術実証、商業化について、スタートアップを含め、強力に支援する必要がある。
- ・ 官民によるロケット開発を進め、年間の打上げ能力を現在の５件から３０件程度とすることを目指す。民間企業による新たな宇宙輸送手法の開発に迅速に対応するため、宇宙活動法の改正法案を次期通常国会に提出することを目指す。
- ・ 宇宙開発には競争とともに国際協力も欠かせない。日米宇宙協力を資するアルテミス計画について、日本人宇宙飛行士の月面着陸に向け、有人と圧ローバの開発を進める。宇宙開発の中核機関として、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）の技術基盤や人的資源を強化する。
- ・ 宇宙安全保障構想を具体化すべく、宇宙領域の防衛能力強化の方向性に係る文書を策定する。他国のＧＰＳに頼らず、より精緻な測位を可能とする準天頂衛星システムについて、今年度中に７機体制を構築し、１１機体制に向

けた開発を進める。

- ・ 宇宙政策は、世界が凌ぎを削る国家戦略である。城内大臣を中心に関係閣僚が連携し、重点事項の取組の具体化を加速していただきたい。

（議了）

出席者一覧

石破	茂	内閣総理大臣
林	芳正	内閣官房長官
		沖縄基地負担軽減担当
		拉致問題担当
城内	実	経済安全保障担当
		内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策 経済安全保障）
岩屋	毅	外務大臣
浅尾	慶一郎	環境大臣
		内閣府特命担当大臣（原子力防災）
あべ	俊子	文部科学大臣
平	将明	デジタル大臣
		デジタル行財政改革担当
		国家公務員制度担当
		サイバー安全保障担当
		内閣府特命担当大臣（規制改革）
小泉	進次郎	農林水産大臣
坂井	学	国家公安委員会委員長
		国土強靱化担当
		領土問題担当
		内閣府特命担当大臣（防災 海洋政策）
瀬戸	隆一	内閣府副大臣
鳩山	二郎	内閣府副大臣
輿水	恵一	復興副大臣
阿達	雅志	総務副大臣
仁木	博文	厚生労働副大臣
古川	康	国土交通副大臣
本田	太郎	防衛副大臣
友納	理緒	内閣府大臣政務官
神田	潤一	法務大臣政務官
東	国幹	財務大臣政務官
加藤	明良	経済産業大臣政務官
橘	慶一郎	内閣官房副長官（衆・政務）

青木	一彦	内閣官房副長官（参・政務）
佐藤	文俊	内閣官房副長官（事務）
森	昌文	内閣総理大臣補佐官 （国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに科学 技術イノベーション政策その他特命事項担当）
岡野	正敬	内閣官房国家安全保障局長
阪田	涉	内閣官房副長官補（内政）
市川	恵一	内閣官房副長官補（外政）
小林	麻紀	内閣広報官
井上	裕之	内閣府事務次官
風木	淳	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長